ケーブル防災設備協議会工法表示ラベル請求用

耐火プラグSは、ケーブル防災設備協議会の登録工法です。
ケーブルの防火区画貫通処理にご使用の際、工法表示が必要な場合に発行いたします。
ケーブル貫通用として使用されているかをご確認の上、ご請求ください。

【注意】・ケーブル以外の配管貫通部には、工法表示ラベル（ケーブル防災設備協議会）を貼らないでください。
同梱の国土交通大臣認定表示シールをご活用ください。
・認定外への施工については、ラベルの発行をいたしません。
・後日お電話にて施工箇所数、送り先、施工品質などの確認をさせて頂くことがあります。

■『工法表示ラベル』について
耐火プラグSは、ケーブル防災設備協議会の登録工法です。国土交通大臣認定番号通りに正しく施工された事を表示するために「工法表示ラベル」を発行しています。
ケーブルの防火区画貫通処理にご使用の際に工法表示が必要な場合に発行いたします。ケーブル貫通用として使用されているかをご確認の上、ご請求ください。
施工会社は、正しく施工したことを確認し、「施工会社名」、「講習会修了番号」（ケーブル防災設備協議会主催　ケーブル防火区画貫通措置に関する講習会　受講修了者の場合）、「施工年月」をボールペンで記入して見やすい場所に貼り付けてください。「工法表示ラベル」は、1貫通穴に1枚です。

ケーブル防災設備協議会
工法表示ラベル請求カード

因幡電機産業株式会社 技術開発センター
工法表示ラベル担当者　行
FAX（06）6618-1787

IRG-S 耐火プラグS

国土交通大臣認定：
PS060FL-0552（床）/
PS060WL-0673（壁・中空壁）（（旧）PS060WL-0472）

※ 下記空欄にご記入の上、FAXにてお送りください。（消防評定一括マークの請求先とは異なります。ご注意ください。）
※ 楷書体でご記入ください。　※ 現場単位でまとめて1枚のご請求カードでお送りください。

▼ 施工内容

現場名	
所在地	
施主名	
建築施工会社名	
設備施工会社名	
ご購入店	TEL（　　）　　－

▶ご請求枚数

ケーブル貫通部の防火措置工法表示ラベルご請求枚数 （注）工法表示ラベルは、1貫通穴に対して１枚必要です。	枚

▶施工のご確認

・取扱説明書に基づき施工完了しました。
・ケーブル貫通用として使用しました。
上記をご確認の上でご署名およびご捺印してください。　㊞

▼ 送付先

貴社名			
所属部署		ご担当者名	
ご住所※	〒		
TEL	（　　）　　－		

※施工現場への送付をご希望の場合は、現場名までご記入ください。

INABA DENKI
因幡電機産業株式会社
http://www.firepro.jp/
●生産技術本部　技術開発センター　技術部　☎（06）6618-1784　FAX（06）6618-1787

20140725

IRG-S 耐火プラグS　取扱説明書

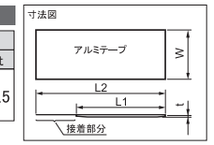
＊国土交通大臣認定番号および（財）日本消防設備安全センター評定番号については下記の適用範囲表をご覧ください。

セット明細
耐火プラグS …… 1枚
取扱説明書 …… 1枚
国土交通大臣認定シール …… 1枚

■製品仕様

型番	適合配管外径	寸法（mm）			
		L_1	L_2	W	t
IRG-28S	φ28以下	120	170	55	2.5
IRG-48S	φ50以下	175	235		

寸法図



㊟ 1.作業される場合は、軍手などを着用してください。2.製品を改造（カット、アルミテープを剥ぐなど）しないでください。3. 認定書・評定書をご熟読ください。
4.ケーブル貫通に使用する場合は内線規程に基づいて行ってください。5.区画貫通部で配管などが動かないようにしっかりと固定してください。

■適用範囲

床・壁構造		厚さ（mm）	開口（mm以下）丸	開口（mm以下）矩形	占積率（%以下）	配管種類	最大配管径	国土交通大臣認定番号	（一財）日本消防設備安全センター評定番号
床	コンクリート・ALC	100以上	φ125	125×507	39.99	架橋ポリエチレン管	25A	PS060FL-0552	KK23-013号
						ポリプロピレン管※1	25A		
						ポリブテン管	25A		
						金属強化ポリエチレン管（アルミ複合三層管）	25A		
						水道用（建築用）銅管※2	20A		
						硬質ポリ塩化ビニル管	30A		
						保温被覆材	φ50mm（厚さ10mm）		
						架橋ポリエチレン管	20A		
						ポリプロピレン管※1	20A		
						ポリブテン管	20A		
						金属強化ポリエチレン管（アルミ複合三層管）	20A		
						さや管、CD管、PF管	φ42mm（楕円：40mm×27mm）		
						架橋ポリエチレン管+制御用ケーブル※3	20A※4		
						ポリプロピレン管+制御用ケーブル※1、※3	20A※4		
						ポリブテン管+制御用ケーブル※3	20A※4		
						アルミニウム蒸着PETフィルム巻き トリプル架橋ポリエチレン管+制御用ケーブル※3	10A×2本 7A×1本		
						アルミニウム蒸着PETフィルム巻き ペアポリブテン管+制御用ケーブル※3	10A×2本		
						ステンレスフレキ管	25A		
						ケーブル	CVT600V　22mm²		
			φ100	100×100	34.40	金属強化ポリエチレン管（アルミ複合三層管）	25A	PS060FL-0690	KK25-009号
						二層被覆材（エラストマー）付ポリブテン管	20A		
						被覆材（エラストマー）付ポリブテン管	20A		
						被覆材（エラストマー）付架橋ポリエチレン管	20A		
			φ209	209×268	51.41	ポリブテン管	40A		
						水道用高密度ポリエチレン管	40A		
						水道配水用ポリエチレン管（PWA）および 給水用高密度ポリエチレン管（PWA）※5	75A		
						水道配水用ポリエチレン管（JWWA）※5	75A		
						耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管※5	75A		
						外層付耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管※5	75A		
壁	コンクリート・ALC	100以上	φ125	125×478	42.42	架橋ポリエチレン管	25A	PS060WL-0553	KK23-014号
						ポリプロピレン管※1	25A		
						ポリブテン管	25A		
						金属強化ポリエチレン管（アルミ複合三層管）	25A		
						水道用（建築用）銅管※2	20A		
						硬質ポリ塩化ビニル管	30A		
						保温被覆材	φ50mm（厚さ：10mm）		
						架橋ポリエチレン管	20A		
						ポリプロピレン管※1	20A		
						ポリブテン管	20A		
						金属強化ポリエチレン管（アルミ複合三層管）	20A		
						さや管、CD管、PF管	φ42mm（楕円：40mm×27mm）		
						架橋ポリエチレン管+制御用ケーブル※3	20A※4		
						ポリプロピレン管+制御用ケーブル※1、※3	20A※4		
						ポリブテン管+制御用ケーブル※3	20A※4		
						アルミニウム蒸着PETフィルム巻き トリプル架橋ポリエチレン管+制御用ケーブル※3	10A×2本 7A×1本		
						アルミニウム蒸着PETフィルム巻き ペアポリブテン管+制御用ケーブル※3	10A×2本		
						ステンレスフレキ管	25A		
			φ100	100×186	36.99	金属強化ポリエチレン管（アルミ複合三層管）	25A	PS060WL-0691	KK25-010号
						二層被覆材（エラストマー）付ポリブテン管	20A		
						被覆材（エラストマー）付ポリブテン管	20A		
						被覆材（エラストマー）付架橋ポリエチレン管	20A		
壁※1・中空壁	耐火構造（60分）※6、準耐火構造（60分）の壁（準耐火：両面強化せっこうボード重張）	85以上（特定共同住宅の場合100以上）	φ54	－	39.64	架橋ポリエチレン管	25A	PS060WL-0673 （旧）PS060WL-0472	KK21-012号
						ポリプロピレン管※1	25A		
						ポリブテン管	25A		
			φ52.1	－	37.96	金属強化ポリエチレン管（アルミ複合三層管）	25A		
			φ70	－	51.02	保温被覆材	φ50mm（厚さ：10mm）		
						架橋ポリエチレン管	20A		
						ポリプロピレン管※1	20A		
						ポリブテン管	20A		
						金属強化ポリエチレン管（アルミ複合三層管）	20A		
			φ62	－	45.89	さや管、CD管、PF管	φ42mm		
						架橋ポリエチレン管+制御用ケーブル※3	20A		
						ポリプロピレン管+制御用ケーブル※1、※3	20A		
						ポリブテン管+制御用ケーブル※3	20A		
						ケーブル※1	CVT600V 38mm²×3C		
			φ50	－	38.44	被覆材（エラストマー）付ポリブテン管	20A		KK25-011号
						被覆材（エラストマー）付架橋ポリエチレン管	20A		
			φ55	－	45.26	二層被覆材（エラストマー）付ポリブテン管	20A		
片壁	片面強化せっこうボード重張/軽量鉄骨下地間仕切壁	42以上	φ70	－	85.8	架橋ポリエチレン管	25A	PS060WL-0519	－
						ポリブテン管	25A		
						金属強化ポリエチレン管（アルミ複合三層管）	25A		
						保温被覆材	φ50mm（厚さ：10mm）		
						架橋ポリエチレン管	20A		
						ポリブテン管	20A		
						金属強化ポリエチレン管（アルミ複合三層管）	20A		
						さや管、CD管、PF管	φ42mm		
						架橋ポリエチレン管+制御用ケーブル※3	20A		
						ポリブテン管+制御用ケーブル※3	20A		
中空床	耐火構造（60分）、準耐火構造（60分）の床	284.5以上	φ70	－	72.9	架橋ポリエチレン管	20A	PS060FL-0614	－
						ポリブテン管	20A		
						硬質ポリ塩化ビニル管	20A		
						保温被覆材	φ50mm（厚さ：10mm）		
						架橋ポリエチレン管	20A		
						ポリブテン管	20A		
						硬質ポリ塩化ビニル管	20A		

※1. 特定共同住宅には対応しておりません。
※2. 被覆材の仕様の詳細は、認定書・評定書をご確認ください。
※3. 1.25mm²（被覆外径φ1.5mm）×3本です。（例：信号線付き架橋ポリエチレン管など）
※4. 貫通部をさや管（壁から300mm以上）として内管を出す施工が可能です。
※5. 配管の外径がφ50mmより大きい場合は、製品2枚を繋ぎ合わせてご使用ください。
※6. ALC、コンクリート含む（国土交通大臣認定のみ）

《施工手順》

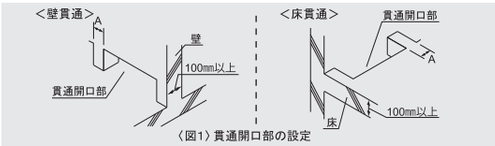
■ 壁（中空壁・片壁（Sウォール*）を除く）・床（中空床を除く）の場合

＊「Sウォール」は吉野石膏株式会社の商標です。

①貫通開口部の設定

配管サイズ、本数、占積率を考慮して貫通開口部を設けてください。

〈注意〉消防共住区画評定における住戸と住戸間の貫通の場合、開口部ピッチAは、それぞれの貫通穴の面積を円に換算し、大きいほうの円の直径以上（当該換算した直径が200㎜以下の場合は200㎜以上）あける必要があります。

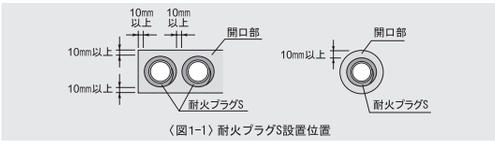


〈図1〉貫通開口部の設定

〈注意〉開口面積はそれぞれの国土交通大臣認定・消防評定の開口サイズ以下になるように貫通開口部を設けてください。

〈注意〉複数同時貫通の時は、必ず10㎜ピッチ以上になるように占積率を考慮の上開口してください。

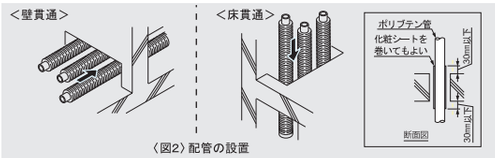
〈注意〉丸穴の場合は隙間が10㎜以上になるようにして、占積率を考慮の上、開口してください。



〈図1-1〉耐火プラグS設置位置

②配管の設置

配管の設置を行い、支持・固定してください。



〈図2〉配管の設置

③耐火プラグＳの巻き付け

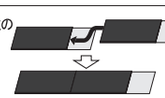
耐火プラグＳを配管に対して巻き付けてアルミテープ部分を貼り付けて固定してください。

〈注意〉このとき、耐火プラグSと配管との間に隙間が無いように気を付けてください。

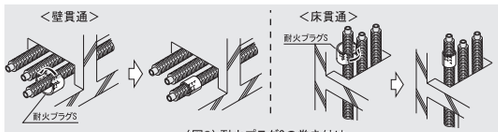
〈注意〉耐火プラグSに印字されている巻き付け配管径目安ラインを参考にしてください。

配管外径がφ50㎜以上の場合、以下の組み合わせの2枚の耐火プラグSを継ぎ合せて使用します。（右図参照）

・50A（φ60）の場合・・・48S+28Sまたは、28S+28S
・75A（φ89）の場合・・・48S+48S



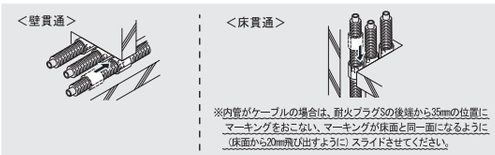
〈注意〉このとき、継ぎ合せ分に隙間が生じないように注意してください。



〈図3〉耐火プラグSの巻き付け

④耐火プラグＳのスライド

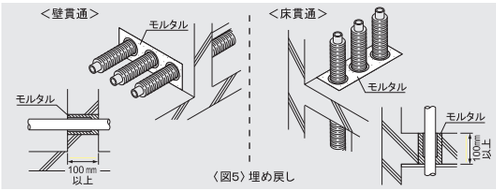
耐火プラグＳの端面を壁面・床上面に面一になるように配管に沿わせてスライドさせてください。



〈図4〉耐火プラグSのスライド

⑤埋め戻し

貫通開口部と配管の隙間に100㎜以上モルタルで埋め戻してください。埋め戻し部に隙間が無いことを確認してください。なお、床貫通の場合はあて板をあて、モルタルで埋め戻してください。乾燥後はあて板を取り外してください。



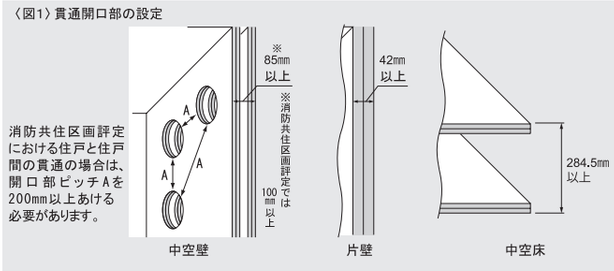
〈図5〉埋め戻し

■ 中空壁・片壁（Sウォール*）・中空床の場合

①貫通開口部の設定（中空壁・片壁・中空床共通）

配管サイズ、本数、占積率を考慮して貫通開口部を設けてください。

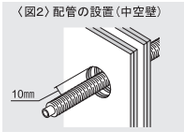
〈注意〉貫通させる配管外径に20㎜(中空壁)、4～20㎜(片壁)、8.6～20㎜(中空床)加えた値を開口径とします。



〈図1〉貫通開口部の設定

②配管の設置（中空壁）

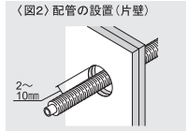
配管の設置を行い、開口穴の縁から10㎜離れるように支持・固定してください。



〈図2〉配管の設置（中空壁）

②配管の設置（片壁）

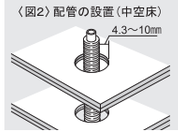
配管の設置を行い、開口穴の縁から2～10㎜離れるように支持・固定してください。



〈図2〉配管の設置（片壁）

②配管の設置（中空床）

配管の設置を行い、開口穴の縁から4.3～10㎜離れるように支持・固定してください。



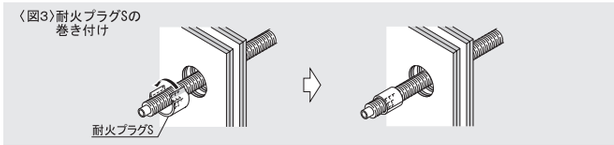
〈図2〉配管の設置（中空床）

③耐火プラグＳの巻き付け（中空壁・片壁・中空床共通）

耐火プラグＳを配管に対して巻き付けてアルミテープ部分を貼りつけて固定してください。

〈注意〉このとき、耐火プラグＳと配管との間に隙間ができないように注意してください。

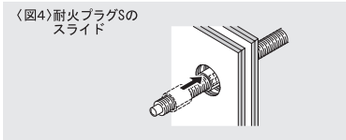
〈注意〉耐火プラグＳに印字されている巻き付け配管径目安ラインを参考にしてください。



〈図3〉耐火プラグSの巻き付け

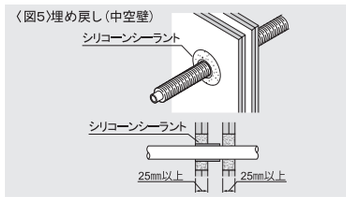
④耐火プラグＳのスライド（中空壁・片壁・中空床共通）

耐火プラグＳの端面を壁面に面一になるように配管に沿わせてスライドさせてください。


〈図4〉耐火プラグSのスライド

⑤埋め戻し（中空壁）

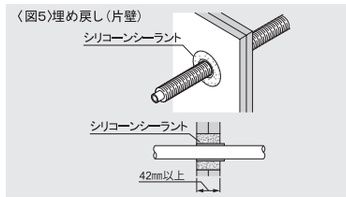
貫通開口部と配管の隙間に、壁表面の両側から25㎜以上シリコーンシーラントで埋め戻しをしてください。
埋め戻し部に隙間が無いことを確認してください。



〈図5〉埋め戻し（中空壁）

⑤埋め戻し（片壁）

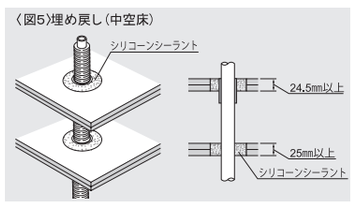
貫通開口部と配管の隙間に、壁表面から42㎜以上シリコーンシーラントで埋め戻しをしてください。
埋め戻し部に隙間が無いことを確認してください。



〈図5〉埋め戻し（片壁）

⑤埋め戻し（中空床）

貫通開口部と配管の隙間に、床上部表面から24.5㎜以上、床下部表面から25㎜以上シリコーンシーラントで埋め戻しをしてください。
埋め戻し部に隙間が無いことを確認してください。



〈図5〉埋め戻し（中空床）

■『消防評定一括マーク』について

耐火プラグSを使用した防火区画貫通部措置工法は、平成17年消防庁告示第4号に規定する耐火性能を有することを(一財)日本消防設備安全センターにより確認(性能評定)されています。
特定共同住宅等の壁(特定共住区画)でのご使用の際は、必ず性能評定品である旨の表示(評定一括マーク又は評定証票)が必要になります。
こちらの請求カードに必要枚数等をご記入の上、弊社までFAXにて送付願います。確認の上、折り返しご請求枚数の「評定一括マーク」をお送りいたします。

消防評定一括マーク請求カード

因幡電機産業株式会社　因幡電工事業部

営業所　行

ＦＡＸ（　　）　　ー

※ 上記枠内に下記の最寄の営業所名をご記入の上、FAXにてお送りください。
※ 楷書体でご記入ください。
※ 現場単位でまとめて1枚の消防評定一括マーク請求カードでお送りください。

(注)消防評定一括マークは、特定共住区画貫通に使用される場合のみご請求願います。
特定共住区画とは、消防法施行令別表第1(5)ロ項に規定されている「寄宿舎、下宿又は共同住宅」に適用されています。

IRG-S 耐火プラグS

(一財)日本消防設備安全センター評定：
KK23-013(床)(共住)/KK25-009(床)(共住)/
KK23-014号(壁)(共住)/KK25-010(壁)(共住)/
KK21-012号(壁・中空壁)(共住)/KK25-011号(壁・中空壁)(共住)

▼ 施工内容

現場名	
所在地	
施主名	
建築施工会社名	
設備施工会社名	
ご購入店	TEL（　　）　　ー

▼ ご請求枚数

消防（特定共住区画）評定一括マークご請求枚数　(注) 評定一括マークは、一つの防火対象物(建築物1棟)に1枚貼付してください。

KK23-013号(床)(共住)	枚	**KK23-014**号(壁)(共住)	枚	**KK21-012**号 (壁・中空壁)(共住)	枚
KK25-009号(床)(共住)	枚	**KK25-010**号(壁)(共住)	枚	**KK25-011**号 (壁・中空壁)(共住)	枚

▼ 施工のご確認

取扱説明書に基づき施工完了された事をご確認の上でご署名およびご捺印してください。　　㊞

▼ 送付先 ※施工現場への送付をご希望の場合は、現場名までご記入ください。

貴社名			
所属部署		ご担当者名	
ご住所※	〒		
TEL	（　　）　　ー		

因幡電工事業部
因幡電機産業株式会社

（最新情報は下記ウェブサイトをご覧ください）
http://www.INABA-DENKO.com/
本部 〒108-0075 東京都港区港南4-1-8 リバージュ品川(11F)

札幌営業所 ☎(011)209-1784㈹ FAX(011)209-1789/ 神奈川1・2課 ☎(045)470-1780㈹ FAX(045)470-1798/ 広島営業所 ☎(082)545-1132㈹ FAX(082)545-1134/ 東京推進課 ☎(03)5783-1721㈹ FAX(03)3474-1715
仙台営業所 ☎(022)293-1785㈹ FAX(022)293-1802/ 名古屋営業所 ☎(052)541-1780㈹ FAX(052)541-1791/ 九州1・2課 ☎(092)283-1785㈹ FAX(092)262-1787/ 名古屋推進 ☎(052)541-1780㈹ FAX(052)541-1791
関東営業所 ☎(048)642-1783㈹ FAX(048)642-1756/ 金沢営業所 ☎(076)262-1783㈹ FAX(076)262-1787/ 広域1課(大阪) ☎(06)4391-1713㈹ FAX(06)4391-1945/ 大阪推進課 ☎(06)4391-1941㈹ FAX(06)4391-1905
首都圏1課 ☎(03)5783-1723㈹ FAX(03)3474-1718/ 近畿1課 ☎(06)4391-1940㈹ FAX(06)4391-1945/ 広域2課(東京) ☎(03)5783-1722㈹ FAX(03)3474-1716/ 福岡推進課 ☎(092)283-1785㈹ FAX(092)262-1787
首都圏2課 ☎(03)5783-1724㈹ FAX(03)3474-1719/ 近畿2課 ☎(06)4391-1732㈹ FAX(06)4391-1945/ 仙台推進課 ☎(022)293-1785㈹ FAX(022)293-1802

※商品に関するお問い合せは、お近くの営業所へ、お気軽にどうぞ。